

く範囲外に進むまで、プレーをしてはいけません。

・プレーヤーはホールイン後、速やかにそのホールから離れること。

・使用するボールに自分の印を付けておき、スタート前に同伴プレーヤーと各自のボールを確認しておく。

スコアカード

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計スコア	
氏名																				
氏名																				
氏名																				
氏名																				
大会名/	_____月_____日 _____時																			

Target Bird Golf



ターゲットバードゴルフ

バドミントンのシャトルコック（羽根）とゴルフボールを合体させたようなシャトルボールをゴルフクラブで打って、ホールに入れるのを競います。ゴルフと同じく、ホールに入れるまでの打数が少ないほうが勝ちとなります。

ルールが簡単で、初心者でもすぐにできます。羽根付きのボールだから滞空時間が長く、直接当たってもけがをしません。地形によって起伏のあるコース、バンカーや障害物のあるコースが設定できるため、変化が楽しめます。またゴルフの練習にもなります。

ルールは、埼玉県・川口市在住の野嶋考重氏が昭和44年に考案したのをもとに、昭和60年、川口市教育委員会が同氏と協力して作成したものです。

日本ターゲットバードゴルフ協会主催の競技会が年3回行われ、現、競技人口は、40代を中心に約10,000人。

(イベントの国内SPグループ)

なんでも貸します。

BHリース 仙台

(これは、レンタルリース所有品です)

仙台商管022(288)0505

 SunLucky 株式会社 サンラッキー World Games™

大阪/東大阪市横小路町5-3-31 TEL. 0729-85-2226(代) FAX. 0729-88-2425
東京/東京都江東区亀戸1-36-4-401 TEL. 03-3636-3201(代) FAX. 03-3636-3383

競技方法

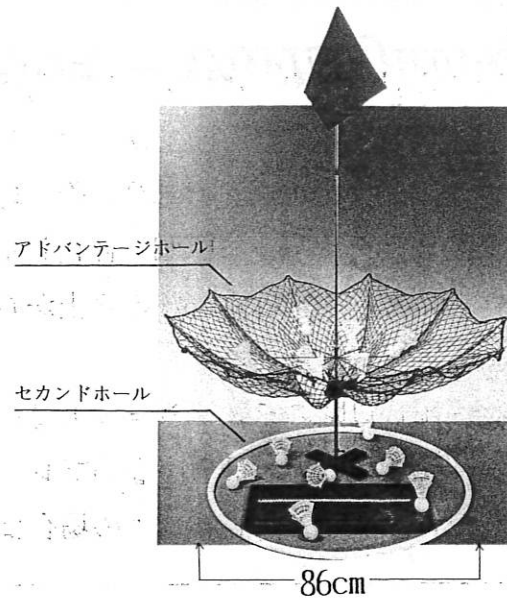
用具

ゴルフクラブ（ピッチングウェッジ）
シャトルボール（羽根付きボール）
スイングマット（ゴルフ用人工芝）
パラソル型ネットホール

上部…アドバンテージホール
ステンレス枠（直径110cm）
ネット張り状

下部…セカンドホール（合成樹脂製）

●ターゲットバードゴルフセット ¥50,600~
セッティングホール(台座付き)1、競技用
ボールセット(15球)、クラブ2、マット1



人数

1組4人以内の個人戦で、何組でもできる。

場所

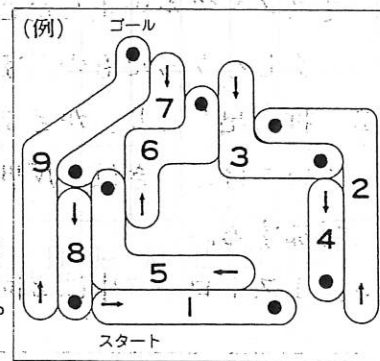
コースはゴルフのように、地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。
普通ウェッジコースの場合はショートホール（パー2、約16m~22m）、ミッド

ゲームの進め方

打順はジャンケンなどで決め、スタートの第1打はスイングマットのティーアップから始める。第2打以降、ホールから最も遠いボールの人からプレー

ルホール（パー3、約32m~45m）、ロングホール（パー4、約50m~60m）の3種類を組み合わせ、1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設定する。ただし、スペースに応じて何ホールでもかまわない（図）。

フェアウェイの幅は3m~6mを原則とする。



し、等距離の場合はくじ引きなどで決める。なおこのとき、拾い上げたシャトルボールは、15cmの範囲内でホールに近寄らない方向の別の地点に置いて（プレースして）打ってもよい。また

羽根の向きを変えてプレースしても構わない。

何回かの打撃でホールインして、そのホールのプレーは終了するが、ホールインとは、ボールの羽根部分を除く球体の部分が、ホールの内側に停止したことをいう。判定はホールの真上から見下ろして行う。

2ホール目以降のティーショットは前のホールでスコアの最も少ないプレーヤーから始める。同じスコアの場合は、

ルール

1. ボールを正しく打つ意思でクラブを振って、空振りした場合1ストロークと数える。ただし、クラブヘッドがボールに触れる前に何かの理由でスイングを中止したときはストロークしなかったものとする。
2. 押し出したり、かき寄せたり、すくいあげたときは、反則で、2打を付加する。
3. 1ストローク中に2回以上ボール

エチケット

- ・プレーヤーは、ストロークを行う前に、近く（クラブが当たる可能性のあるところ）に人がいないことを確認してプレーする。
- ・また無闇に素振りをしないこと。他

前のホールのティーショットの順番に従う。このようにして、全ホールのプレーをしていき、18ホールの合計打数の少ないプレーヤーが勝ちとなる。

なお、ボールの識別や、他のプレーヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げるときは、マーカーを置いてから行う。動物などにボールを持ち去られたときは、そのボールのあった地点に、別のボールを置いてプレーを続行する。

に当たったとき合計2打として数える。

4. ボールがフェアウェイから出たときは、1打付加し、そのボールを最後にプレーした地点にできるだけ近いOB地点からストロークする。OBのラインが石灰やロープで表示されているとき、そのライン上はOB。
5. セカンドホールに入れた場合は、打ったショット数に1打を付加する。

の者はプレーヤーに近寄らないようにする。

- ・プレーヤーがストローク中は、他の者は動いたり話をしたりボールやホールの近くに立ったりしない。
- ・プレーヤーは前方の者がボールの届